Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No. 137

2024 4.17（水） 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15	◆演者紹介
12:15-12:40	◆プレゼン
12:40-12:50	◆質疑応答

オンライン（Zoom）
登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_xJ9TshGtRHiRdhHAHF7DEw

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

鏡からみた古代日本の国家形成

司会：錢 琨 准教授（Q-AOS 創発推進コーディネーター）

10 人や国の不平等をなくそう　16 平和と公正をすべての人に

Key Words
考古学　古代日本　弥生・古墳時代　青銅鏡　前方後円墳　国家形成

辻田 淳一郎 教授

九州大学 人文科学研究院 歴史学部門

九州大学文学部卒業。九州大学大学院比較社会文化研究科（現・地球社会統合科学府）博士後期課程単位修得退学後、2001 年 7 月から 2003 年 9 月まで福岡県教育庁文化財保護課にて福岡県内の遺跡の発掘調査などに従事しました。2003 年 3 月に博士号を取得（九州大学、博士（比較社会文化））した後、2003 年 10 月に九州大学大学院人文科学研究院に専任講師として着任しました（2008 年 4 月から准教授）。専門は日本の考古学で、特に弥生・古墳時代を中心として、日本列島の古代国家形成過程に関する比較考古学的研究を進めています。2023 年には、第 35 回濱田青陵賞を受賞しました。著書に『鏡と初期ヤマト政権』（すいれん舎、2007 年）、『同型鏡と倭の五王の時代』（同成社、2018 年）、『鏡の古代史』（角川選書、2019 年）などがあります。

日本列島の先史時代の中でも，弥生・古墳時代は，中国・朝鮮半島との活発な交流によって特徴付けられます。そうした古代東アジアの交流の歴史を物語る資料の一つとして，青銅製の鏡があります。青銅鏡は，弥生時代に朝鮮半島からもたらされた鏡が最初に出現します。その後は中国で生産された鏡が列島にもたらされ，列島の地域社会の統合や社会組織の複雑化を引き起こす要因の一つともなりました。古墳時代には，近畿を中心として巨大な前方後円墳が築かれるようになり，九州南部から東北南部まで前方後円墳の築造が広がりますが，それと重なるように中国からもたらされた鏡や，それをもとに列島で生産された鏡も広く流通しました。このことが，後の近畿地域を中心とした古代国家形成の基礎になったと考えられています。最近でも，考古学上の新たな遺跡の調査や発見として，これらの鏡や古墳が注目されています。本セミナーでは，そうした考古学の最新の研究成果について御紹介したいと思います。